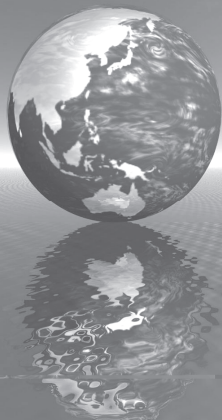


関西学院大学主催
秋季人権問題講演会



総合テーマ

「インクルーシブな
社会の実現を
目指して」
(2025～2029年度)

「支える」から「一緒にやる」へ ～福島で育んだ協働の輪～

◆ 2025年11月21日(金)

● 13時20分～15時00分

西宮上ヶ原キャンパス G 号館301教室

および オンライン同時配信

あきみつ

のぶよし

◆ 講師／ 秋 光 信 佳 氏

(東京大学 アイソトープ総合センター 教授)

◆ 参加方法／

【会場】事前申込不要

【オンライン】詳細は以下のURLまたは
右のQRコードをご確認ください。

<https://kg-humanrights.jp/pn9ydn>



*本講演会では、手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。
また、講演会は録画し、後日、字幕をつけた動画を本学Webサイト等で配信する予定です。

■講演内容

2011年3月11日の福島第一原発事故から14年以上が経過しました。私は放射線の専門家として、発災直後は防護と除染に尽力しました。この活動をきっかけに福島第二原発の立地自治体・楡葉町とその住民の方々との縁ができました。この縁から2023年には、「楡葉町×東京大学総合研究博物館 連携ミュージアム〈大地とまちのタイムライン〉」の誕生にも携わりました。被災地支援として始まった取り組みは、現場での対話や授業、展示づくりを重ねる中で、住民・学生・研究者がともに考え動く『協働』へと育っています。福島県浜通りで、記憶と自然の歩みを可視化し、誰もが参加できる学びの場を広げています。本講演会では、キーワードを『支援から協働へ』に据え、関係づくりの実例と課題、次の一步を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

■講師紹介

旧採炭地である福岡県飯塚市に生まれる。1994年九州大学薬学部卒業、1999年博士(薬学)取得。1997年九州大学薬学部助手、2000年東京大学薬学部助手、2003年フリードリッヒ・ミッシャー研究所(スイス連邦国)博士研究員、2005年産業技術総合研究所研究員、2008年東京大学アイソトープ総合センター准教授を経て、2014年より現職。分子生物学、生化学、放射線創薬を専門としており、福島第一原子力発電所事故時には放射線に関する専門家として被災地で除染等のボランティア活動に従事した。

*車いすでご来場の方は、お席の配慮等をいたしますので事前にご連絡ください。

関西学院大学人権教育研究室

Tel. 0798-54-6720 / Mail : human-rights@kwansei.ac.jp